

○教育基本法

○東京都教育委員会教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

○練馬区教育委員会教育目標

- ・人間尊重の精神と社会貢献の精神の育成
- ・豊かな個性と想像力の伸長
- ・家庭教育の支援と子供たちの健全育成の推進
- ・子供に対する一貫した成長支援
- ・自然環境の保全と文化遺産の保全・活用・継承

【本校の教育目標】

○なかよく ○かしく ○にこにこ ○しなやか

【保護者・地域の願い】

○地域の誇りとなる子供

目指す学校像⇒活力のある学校

教職員、保護者、地域が熱い情熱をもって、子供たちのために、正面から向き合い全力を尽くす学校

- (1) 子供たちには「笑顔」と「自己肯定感」「達成感」をもたせる学校
毎日楽しく登校し、自分の力を存分に発揮できる
- (2) 教職員には「やりがい」と「誇り」がもてる学校
子供との信頼関係を築き、自分自身の指導力を高め、子供の成長を喜びと感じる教師
教職員にも「笑顔」や「達成感」
- (3) 保護者・地域には「安心」・「安全」と「安定感」を与える学校
安心・安全が確保され、信頼される学校

【児童の実態】

- 明るく素直で、人に親切である。
 - 学力は都の平均を上回る。
 - 体力は二極化、全体的に低い。
 - 指示待ち。
- 【教師の願い】
- 問題意識をもち課題選択、課題設定をし、積極的に、継続的に課題解決に取り組む姿勢を育てたい。
 - 知識を活用し、主体的に伝え合い、高め合うコミュニケーションのとり方を伸ばしたい。

【本校の目指す授業】

- 児童に、基礎・基本の学力の定着を図り、主体的に学ぶ力を育成する。
- 児童に、豊かな感性や人を思いやる心を育て、自他の生命や人権を尊重する態度を養う。
- 児童に、自らの安全と健康を守る力、心身の成長を図りながらよりよい生活を送る力を身に付けさせる。

＜本校の授業改善に向けた視点＞

指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の知的好奇心や学ぶ意欲を高めるため、教材やICTを含めた教具の活用を工夫する。 ・ゲストティーチャーや校外学習等で地域素材を生かした体験的な学習の充実を図る。 ・繰り返し学習などで、基礎・基本の徹底を図る。 ・ペアなどで学び合う活動を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導担当教員、学力向上支援講師を積極的に活用し、授業改善を図る。 ・3～6年の算数において、習熟度別少人数指導を実施し、個に応じた指導を進める。 ・標準時数を確保するために、水曜日の朝の時間を活用し、国語を中心にモジュール学習を行う（3～6年）。 ・体育朝会や休み時間、家庭との連携による取組を生かして体力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動の楽しさや喜びを味わい、すすんで運動に取り組む児童の育成／ゲーム・ボール運動系の授業の充実を通して」を研究主題に年間を通して講師を招き研修を深め資質向上を図る。 ・校内研究と各年次研修を連動させ、全教員の資質向上を図る。 ・主任教諭を中心に月2回程度のOJTを開催し、全教員の資質向上と共通理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における評価計画および評価規準の見直しを図り、適切な評価活動を行う。 ・講師や指導員を生かし、子供一人一人が学ぶ喜びや学習の伸びが感じられるように評価を工夫する。 ・児童による授業評価および保護者、学校評議員による学校評価を、授業改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針をはじめとする様々な情報を学校だより、保護者会、学校ホームページ等で発信する。 ・学年発表会や道徳授業地区公開講座などを通して、感染症予防対策を講じながら教育活動を公開するとともに、家庭や地域の参画を求める。 ・学校だよりなどを通して、生活習慣の確立や家庭学習、体力づくり等を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業など中学校との連携を図り、高学年児童に進学への望をもたせ、学ぶ意欲を高める。 ・課題改善カリキュラムを活かし、小中一貫グループでの授業やカリキュラムの連携を進める。 ・小中一貫グループを基軸とした地域ぐるみの取組で児童の規範意識や安全への意識を高める。

